

岡田議員が聞く

農業の 未来を考える

～青年農業家の挑戦～

表紙写真／話をお聞きした皆さん

今回は、「農業の未来を考える」をテーマに、
青年農業家の皆さんに農業の現状、展望につ
いてインタビューしました。

地域を担える 農業にしていきたい

Q 市内のどちらで何を生産し
ているかお聞かせください。

六日市 西条町寺家で、トルコ
ギキョウと米を25アールほど
作っています。

末釜 西条町下三永で野菜を
作っています。夏ですと、葉菜

類、ナス、ピーマンなど。冬で
すと大カブ、あと去年からター
サイを作っています。

増原 高屋町高屋堀でサルビア
やマリーゴールド、パンジーな

どの花の苗と最近は野菜の苗を
生産するようになりました。

大下 黒瀬町国近で、ナスやト

ルコギキョウ、あと、将来的に
農家レストランを目指している
ので、野菜を多岐にわたって
作っています。

Q 農業を始めたきっかけにつ
いてお聞かせください。

六日市 農業をする土地があつ
たことと、長くサラリーマンを
やっていたのですが、いろいろ
あって園芸センターへ研修に
いって、まあ、やるか！という
感じでした。

末釜 花農家さんのところで教
えてもらって、農業技術大学校
へ進学し、卒業前に準備する中
で、東広島が生産者に会って、
いろいろ話をさせてもらって、
農業は、自分がやったものは自

プロフィール



ますほら みつひで
増原 三千哉さん



むろい ひろし
六日市 博さん



おおした ひろたか
大下 博隆さん



すえがま けんたろう
末釜 健太郎さん



②



①

- ① インタビュー風景
- ② 摘花作業をする六日市さん
- ③ 大下さんのビニールハウスで農業談義にも花が咲く
- ④ 大下さんが育てたトルコギキョウ



④



③

分のものだし、やらなかったら自分の責任だという思いで農業をやっていくと決めました。

増原 マツダで20年間務めたので、別な仕事をしたいなと思いで、庭で花の苗を作ったのがきっかけです。

大下 飲食店で働いていて、市販のものより、母が家庭菜園で作った野菜がおいしいことに疑問を持ち、自分で、もっとおいしいものが作れたら面白いんじゃないかと思ったのがきっかけです。

Q 今後の課題についてお聞かせください。

増原 ブランド化もしていかなくてはいけないし、顔の見える人を買ってもらいたい。品質を安定させるために、園芸センターと情報交換しながら土づくりの技術を確立させたい。

六日市・末釜・大下 事業を広げる、欲しいといわれる量を保していくためには、雇用が必要。労働力の確保が課題です。

Q 将来の夢についてお聞かせ

ください。

六日市 4月から休んでいないので、休みが取れるような農業を考えていきたい。

末釜 これ以上は出荷先がないというぐらい、いい品物と量を作っていきたい。

増原 花を通じての地域とのコミュニケーションや、食育ならぬ花育、花を育てる楽しみを伝えることをやってみたい。

大下 地域を担える農業にしていきたいと強く思っています。

Q 最後に一言。

六日市 いろんな制度や使えるけど不要になった農業用品などの情報が欲しいですね。情報共有できる体制づくりを。

末釜 農業で頑張っていくので、困ったときに助けてもらえるような支援をお願いしたい。

増原 経営面での指導をしてもらえれば、認定農業者の制度はもっといいものになると思います。

大下 皆さん、ぜひ、市内の産直で野菜を買ってください。花も買ってください。